



北区自治協議会 部会会議概要

地域づくり部会 p. 1-2

福祉教育部会 p. 3-4

自然文化部会 p. 5

第 17 回 地域づくり部会 会議概要

日 時	平成 30 年 10 月 18 日（木曜） 午後 3 時 20 分から午後 4 時 10 分
会 場	北地区コミュニティセンター 和室
出席委員	本間（久）部会長、阿部（恵）副部会長、阿部（康）委員、五十嵐（隆）委員、本間（藤）委員、山賀委員、阿部（淳）委員、川島委員、倉島会長
欠席委員	上松委員、小林委員
事務局関係課	建設課長、産業振興課長、地域総務課（清水、中川、高野）
会 議 要 旨	<p>1 平成 30 年度自治協議会提案事業について</p> <p>「ノーザンミュージックフェスティバル 2018」について</p> <p>9 月 30 日に開催された同イベントについて、阿部（淳）委員および事務局から報告が行われました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日、台風 24 号が接近する予報で、28 日（金）に産業振興課と北区文化会館、実行委員会が協議のうえ、屋外イベントを中止し、移せるものは北区文化会館ロビーに移した。 ・当日北区文化会館を訪れた人は約 2,400 人。600 枚程度配付したチケットを持参したホールステージ来場者は、304 人（もぎり数）。 ・当日アンケートの回収は 78 枚。99 パーセントの人が「またやってほしい」など好意的な回答。 ・チケット制についての苦情はあったが、ラストが辛島美登里さんであり、席を空けておかなければならなかった。 ・出演者からは、会場の音響がとてもいいとの声が多く聞かれた。 ・事業費については、11 月に実行委員会と次の自治協議会で会計報告を行う予定。 ・当日の様子は、10 月 1 日の新潟日報朝刊、10 月 21 日号北区役所だよりに掲載され、区自治協提案事業を P R できた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>

	<p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋葉区や西蒲区の自治協広報紙をもらったが、北区はどの様に広報しているのか。 → (事務局) 昨年は単独で発行したが、今年度は区だよりを利用して。 (6/17号は1面全面を使い自治協の特集。この他ノーフェスは8/5号、9/16号、10/21号でも記事を掲載。) また、北区公式フェイスブックにおいても自治協やノーフェスを広報している。 第6期の総集編となる自治協だよりを年度末に作成予定。 <p>2 平成 30 年度自治協議会提案事業について</p> <p>「地域防災力向上事業」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災士資格取得養成講座の受講者が10人を目標としていたところ、8人の応募があり、12月に県庁で受講することとなった。 ・全員が資格を取れば、北区の防災士は22人となり、コミ協単位などの地域においても、防災士がいることとなる。 ・新しい防災士を迎えての会合なども予定しており、部会で報告する。 <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所 (南浜小学校) において、避難所開設の際に必要な物資の保管場所の確認を行った。体育館から離れた、外からも風の入る場所にあり、ゴミだらけであった。 → (事務局) 保管場所を確認し、小学校側と協議する。 ・総合ハザードマップの完成が遅れているようだ。早く欲しい。 → (事務局) 今年度中の配布を予定している。
--	---

第 17 回 福祉教育部会 会議概要

日 時	平成 30 年 10 月 18 日（木） 午後 3 時 20 分～午後 4 時 00 分
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室 1
出席委員	渡邊（正之） 部会長、梅津副部会長、若月委員、五十嵐（紀子） 委員、工藤委員、高橋委員、真壁委員
欠席委員	曾我委員、村中委員、岡委員
事務局 関係課	健康福祉課長、豊栄地区公民館長、北区教育支援センター所長、北出張所長、地域総務課（本田、吉澤、大久保、佐藤）
会議要旨	<p>1 平成 30 年度自治協議会提案事業「区民の一体感醸成プロジェクトーみんなの区役所づくりー」について 事務局より、進捗状況の報告を行いました。 →ワークショップは新潟医療福祉大学が運営に協力することを確認しました。</p> <p>2 第 2 回教育ミーティングについて テーマ設定や時間配分等を検討しました。 →子どものスマホ依存について意見交換することとしました。また、区内小中学校長にも出席を依頼し、スマホ依存の実態を報告してもらうこととしました。</p> <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがスマホを本格的に使い始めるのは、中学生になってから、という印象がある。しかし親のスマホを使ってゲームをする小学生も多い。当ミーティングには中学校長のみならず、小学校長にも出席してもらいたい。 ・スマホが社会に浸透している以上、子どもに「スマホはダメ」と言うのは現実的ではないと思う。むしろスマホのある生活を前提として、正しい使い方や危険性を伝えるべきだ。 ・小中学校長から現場の声を聞きたい。具体的事例を踏まえて、意見交換したい。 ・昨年度のミーティングは、地域がどう教育に関わるべきか話し合うというシンプルなテーマ設定でよかった。本年度も簡潔な設定だとよい。 ・地域側と学校側の意見交換それ自体が大切だと思う。具体的な解決策に至らなくても、一定の方向づけができれば、意義があるのではないか。 ・当ミーティングですべて解決することは難しいはず。だからこそ、教育委

員会に対して意見の提起や、情報を共有することで、教育施策の一助となるようにしたい。

- ・最も伝えたい層に伝わらない現状がある。スマホ依存の問題について関心の低い親にどうすれば届けることができるのか、当ミーティングで議論できればと思う。
- ・当部会委員は、それぞれ異なる分野で活動している。多様な意見が出されるなかで、共通の問題点が現出するはず。
- ・当部会委員の活動拠点はいずれも異なる。教育委員と有意義な意見交換を行うためには、冒頭にテーマ設定の経緯を説明してはどうか。

第 18 回 自然文化部会 会議概要

日 時	平成 30 年 10 月 18 日（木曜） 午後 3 時 20 分～午後 3 時 40 分
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室 2
出席委員	若尾部会長、阿部（美）副部長、赤間委員、渡邊委員、川居委員、後藤委員、松田副会長
欠席委員	内川委員、高口委員
事務局 関係課	区民生活課長、産業振興課（西脇）、地域総務課（宇野、貝瀬、高田）
会議要旨	<p>1 平成 30 年度 福島潟の魅力発信事業について</p> <p>水の駅「ビュー福島潟」における『河童のユウタの冒険』にちなむ「ユウタの棲家」の絵の活用案を検討しました。</p> <p>①「ビュー福島潟」6 階ホール壁に大きなタペストリーとして展示 ②四季折々に変化する「ユウタの棲家」の絵をタペストリーとして展示 ③「ユウタの棲家」の原画（2 作）の額装 ④その他（4 階展示室の案内表示、原作の寄贈、バッグやポスター作成等）</p> <p>〔主な意見・感想〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現案の通りで良いのではないか。予算がかかっても良いものを作るべきだ。 ・タペストリーの一部は、1 階から 3 階の無料ゾーンにも展示して、上階への導入にできると良い。 ・4 階展示室入口の案内表示について、具体的なイメージがあると良い。 ・11 月に作者が来館する時には、原画の額装が出来ていると良い。 ・単価が高めとなるバックについては、無料で配布するのはいかがなものか。 <p>2 福島潟シンポジウムについて</p> <p>「河童のユウタの冒険」と福島潟、と題するシンポジウムについての情報提供がありました。</p> <p><福島潟シンポジウム「河童のユウタの冒険」と福島潟> 日時：平成 30 年 11 月 25 日（日）午後 1 時半～3 時半 会場：水の駅「ビュー福島潟」6 階展望ホール</p> <p>〔連絡・確認事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『河童のユウタの冒険』の作者、挿絵作家、若尾部会長もパネリストとして登壇する予定。 ・参加可能な人は、ぜひ参加を。